

賀詞交歓会挨拶

令和7年1月23日

本部長 稲川 知法

あけましておめでとうございます。

本日、ここに公益社団法人全日本不動産協会、並びに公益社団法人不動産保証協会、一般社団法人全国不動産協会、各栃木県本部、合同賀詞交歓会を開催するに当たり、沢山のご来賓の方々をお迎えして、開催出来ますことは、この上ない喜びでございます。高い席からではございますが、先ずはご来賓の方々、並びに代理出席を頂きました方々に、謹んで御礼を申し上げます。有難うございました。

さて、昨年を振り返りますと、元日に能登半島沖に大地震災害が発生し、沢山の犠牲者、並びに被災者の姿が報道されました。私共は出来る範囲にて、支援金を寄贈して頂き、総額7,700万円を被災地にお届けしました。また、石川県、富山県、新潟県本部にも、各県本部よりお見舞いが寄せられ、全日のオールジャパンの良さを痛感しましたとの言葉も頂きました。今年は是非とも、安寧な年であることを願いたいと思います。

今年は、「2025 大阪・関西万博」が開幕します。当協会では、数年前より準備を整え、未来への街作りを考える展示には、未来の宅建士が登場し、私たちが果たすべき役割等を披露して参りますとの事で、今から楽しみなパビリオンでございます。ぜひ皆様も、ご参加いただきたく宜しくお願い致します。また、全国不動産会議大阪府大会は、万博実行委員会より計画の見直しがあり、9月3日より9月4日に一日遅延と

なりました事も、お伝えしておきます。

昨今の業界内での問題につきまして、ご報告させていただきます。それは、当協会のオールジャパン体制が、解決に向かう方策として、期待されて居ることです。それが、「空き家問題」です。本日の下野新聞一面では、栃木県がこの問題に関して、「空き家バンク」を設営し、各市町村の情報を一元管理するとの記事が掲載されておりましたが、それと全く同次元の対応を当協会は進めております。私どもは、一つの法人で有る事で、各県本部より上がって来た情報を、一元管理して、相談者に寄り添うことが可能と成ります。それが、中村理事長が進めている「全日ラビー空き家相談ネットワーク」でございます。今年度開始予定との事で、栃木県とも協議の上、更なる情報管理に努めて参りたいと思います。どうか会員の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

以上、今年も会員の皆様が、当協会の会員で良かったと思える施策、研修等を、進めて参りますので、何卒ご期待の程、宜しくお願い申し上げます。また、今年度は、役員の改選時期でもございます。栃木県本部が、全国の県本部の皆様のご支援にて成り立っていた数年前より脱却し、自らの力で、運営できる組織に脱皮出来ましたが、更に、会員数の増強にご尽力頂き、強固な県本部に変質して 行こうではありませんか。会員各位の奮闘を、お願い申し上げます。

結びになりますが、私事で大変恐縮でございます。ご報告一つ付け加えさせていただきます。昨年、令和6年秋の褒章にて、私儀、「黄綬褒章」を拝受いたしました。これは、中村理事長を始めとします役員の皆様、各県本部本部長のご指導、お力沿いの賜

物と、理解しており、感謝しております。さらに、理事長を始め、役員の皆様にて「祝賀会」の開催も予定して頂く事が確定しておりますので、万が一、お時間のご都合の付く方は、是非とも、ご臨席賜りたくご案内申し上げます。

以上を持ちまして、ご挨拶といたします。皆様の、ご健康、ご隆盛をご祈念申し上げます。有難うございました。